

《大熊 公平》

協働のまちづくりについて

問 ① 区画整理事業等により、アパート、集合住宅入居者の自治会への加入率が低下し、地域コミュニティの衰退、犯罪抑止力の低下が懸念される。その現状と問題点をどう把握しているか。

答 ② 自治組織活性化のための支援制度が環境、防犯、交通、防災の4メニューであるが、実績が少ない理由で予算を減少するのは疑問が残る。使いやすい制度に見直す必要があると思うが、どうか。

問 ③ 総合計画にNPO・ボランティア団体の活動が市民主役のまちづくりに必要と位置付けられ、全市的なボランティアネットワークの形成を挙げているが、早期形成のため、現在どのような取り組みを行っているか。

答 ① アパート、マンションに自治会をつくりにくい現状であるが、清掃活



自治組織活性化支援事業で落書きの消去作業

平等を基本にメニューの見直しを考えていきたい。

答 ③ NPOは市内に21団体あり、きらめきプラザを拠点に岡山県全体のネットワーク化がされている。NPO・ボランティア団体は協働のまちづくりのパートナーである。ネットワーク化は、岡山県や総社市社会福祉協議会と連

携して、窓口の一元化や情報発信、さらに人的ネットワークの平時構築なども視野に検討していきたい。

(市長)

中心市街地活性化について

問 郊外への大型店舗の進出で中心市街地の衰退に歯止めがかからない状況であるが、大型店舗の進

出に対する見解はどうか。

答 大型店舗の進出は、地元業者と共存共栄し、本市の企業や商店を侵犯しないのが基本原則。もし来るのであれば、共存共栄ができるかどうかを検討し、

《服部 剛司》

9月議会の提案説明について

問 ① 高梁川新架橋は広域的な道路の一部であるので、倉敷船穂真備総社線、酒津の大橋が動き出す時期まで、財政逼迫の現状から平成24年まで着工を待つべきと考えるがどうか。管理も国県に見てもらおうなら、約束を先にとつてから着工すべきと考えるがどうか。

答 ② 休日夜間の救急救命体制の完備はどうか。医師会へ願いや本音を遠慮なく言つて、具体的な内容を示してほしい。

問 ③ 人事考課制度は人が人を評価するので、使い道によっては反対の効果も考えられる。人材育成がどのよう

大型店舗内への地元店出店のバックアップなど、ルールづくりのバックアップに取り組んでいきたい。(市長)

このほか、情報化の時代、市民サービスについて質問しています。

に進むか、内容を示してほしい。

答 ① 平成18年3月議会の12対11で着工というこ

とになった時点で、国県での架橋は消えた。市を二分する議論に対し、一体感をもって進めるため、終止符を打たなければならぬ。倉敷の動向を少し待ってみることも意見の一つ。しかし、国の補助や合併特例債で行える架橋は、今の財政状況を考えたとき、進めるべきと提案したい。

答 ② 初期救急のあり方は遅々として進まないが、本市が負担する金額の問題、開所時間、人員、看護師の確保等、医師会の協議のテーブルに載っている。今後とも医師会との信頼関係のもとで結論を出していきたい。

消防(救急車)行政について

問 ① 将来、救急車の有料出動を考える時期に来ていると思うがどうか。

答 ② 本当に救急車が出動すべきかどうかを救急救命士等が確認して出動すべきと考えるがどうか。

答 ① 有料化にすると、経済的余裕のない者が利用に躊躇したり、公共機関性を逸脱した利用が行われたりする危険性がある。有料化は市独自に判断できない。国では、救急需要に関する検討会で民間救急車の活用、救急有料化も選択肢の一つと考えているようである。(市長)

答 ② 明らかにいたずら、誤報、問い合わせといったものが結構あり、出動はしていない。全国では通報内容での判断を誤って大変な事故を起こしたケースもある。まず救急隊は現場に行き、慎重に対応していくことが重要と考えている。(消防長)

このほか、県財政について質問しています。

《渡邊 繁雄》

新たな交通網整備について

問 ① 3月議会の名木田議員の一般質問で、バス路線の維持経費及び高齢者バス・タクシー料金助成事業をゼロベースで考えて、

利用者にも負担をしてもらい、市内全域に乗り合いタクシーを導入してはどうかという提案があったが、その後どのような内容で検討を行ったのか。

答 ② 乗り合いタクシーを導入した場合、試算では多少負担は増えるが、今の路線バスをゼロベースで考えて判断したらどうか。また、部分的に試行運転を行うなど、子どもたちの通学の足の確保にもつなげてほしい。弱者、辺地に住んでいる方への足の確保をどう考えているのか。

答 ① 平成19年度で9バス路線の維持経費に2244万円の補助金を支出しているが、利用者が少なく、一部廃止の路線もあり、現



山手ふれあいタクシー。弱者等の足の確保が急がれる

このほか、県財政について質問しています。